

今やデジタル環境は無くてはならないもの。  
ルーチン観察・検査でも広く使われています。

一方で、モニタ観察は環境により見え方が異なります。

**液晶モニターの違い**

- 色温度・輝度は調整により変わる
- メーカー、あるいは個体差がある
- 劣化・経時変化する

※顕微鏡写真をノートパソコンで見たら色合いが全然異なる!というのはいくつありますか?

**CMOSセンサー(電荷素子)の違い**

- メーカーやデジタル処理による違い

**本物を見分けていますか?**



目視検査の  
**課題**

ライカは**本物にこだわる光学性能**で  
目視検査の課題を解決します!

- 検査員によって結果にばらつきがある
- 見落としがあり正確ではない
- ワークは大きい対象物は小さく、時間がかかる

## アイピース (接眼レンズ) 付き&フルオート マイクロ스코ープ

### ● 観察手法が豊富

対象物に応じて最適な観察方法があります。マイクロ스코ープに合わせるのではなく、ニーズや対象物に合わせてくれます。

● 偏光 ● 透過偏光 ● 蛍光 ● 明視野 ● 暗視野 ● 微分干渉 ● 位相差

### ● 高い光学性能 (ライカユニーク光学系)

#### FusionOptics (フュージョンオプティクス)

実体顕微鏡で左右光路を非対称にすることで、高解像度と被写界深度両立を初めて実現した独自技術。人間の目で観察するからこそ実現可能な世界。

#### HC光学系システム

Leica (ライカ) 独自の最高品質観察像を創造するハーモニックコンポーネント光学システム。

顕微鏡全体で最高品質になるよう、ドイツマイスターのプライドをかけた匠の技で調整された製品だけが世に出ます。

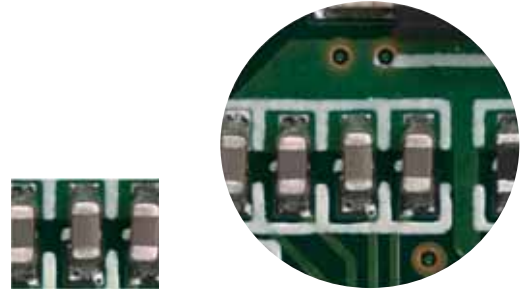
### ● 最新のカメラに適時変更可能

カメラだけ交換可能です。

Leica (ライカ) の世界最高光学系レンズはそのまま最新カメラを採用しやすい。デジタルマイクロSCOPE本体全交換の必要がなくなります。

### ● 目視は観察できる視野範囲が広い

同じ倍率で観察した場合、デジタルと目視の視野範囲はかなり異なります。光学顕微鏡 (対物レンズ5x, 接眼レンズ10x【視野数25】) の場合、目視で見たエリアは、モニターでデジタル観察したエリアと比べて、面積比で4.5倍も広がっています。



デジタルの視野イメージ

目視での視野イメージ

### ● 3Dで拡大観察しながら作業が可能 (実体顕微鏡)

実体顕微鏡ベースのマイクロSCOPEでは、対象物が立体的に見えます。遠近感もわかるので、加工や組み立て、ピックアップ作業をされる方は実体顕微鏡が必要です。

## ISO16232, VDA19.1 準拠 コンタミ自動測定システムもサポート

### ● Leica Cleanliness Expert

自動車製造分野における先進メーカー数社の協力のもとに開発された品質保証システム。

メンブレンフィルタで捉えた微粒子の分類や特定化を目的とする、すべてのアプリケーションに対応します。



### ライカ マイクロシステムズ 株式会社

本社 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-9  
 大阪セールスオフィス 〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎5-4-9 商業第2ビル10F  
 名古屋セールスオフィス 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-3-31 CK22キリン広小路ビル 5F

Tel.03-6758-5656 Fax.03-5155-4333  
 Tel.06-6374-9771 Fax.06-6374-9772  
 Tel.052-222-3939 Fax.052-222-3784

<https://www.leica-microsystems.com/jp/> Email: lmc@leica-microsystems.co.jp

※商品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。